



2022 年 9 月 期 第 2 四 半 期 決 算 説 明

株 式 会 社 丸 山 製 作 所

代 表 取 締 役 社 長 内 山 剛 治

次 の 1 0 0 年 を 創 る
-All for the Future-



目次

1. 2022年9月期第2四半期 業績概要 P.2
2. 2022年9月期 業績予想 P.13
3. 第7次中期経営計画 P.20
4. 参考資料 P.29
会社概要 財務諸表 等



1

2022 年 9 月期第 2 四半期 業績概要

【2021 年 10 月 1 日～2022 年 3 月 31 日】

2

2022 年 9 月期 業績予想

【2021 年 10 月 1 日～2022 年 9 月 30 日】

3

第 7 次中期経営計画

【2020 年 9 月期～2022 年 9 月期】

4

参考資料

会社概要 財務諸表 等

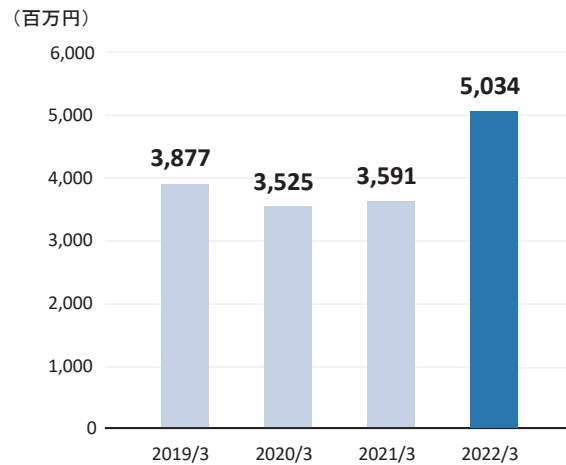
2022 年 9 月期第 2 四半期 業績概要

単位：百万円	2021 年 9 月期 第 2 四半期		2022 年 9 月期 第 2 四半期			2022 年 9 月期
			実績			通期予想
	金額	売上高構成比	金額	前年同期比	売上高構成比	金額
売上高	17,601	100.0%	17,980	2.2%	100.0%	37,700
営業利益	895	5.1%	651	△ 27.2%	3.6%	1,500
経常利益	833	4.7%	711	△ 14.7%	4.0%	1,450
当期純利益	445	2.5%	518	16.6%	2.9%	1,000
為替レート 米ドル	109 円		110 円			
為替レート ユーロ	124 円		132 円			

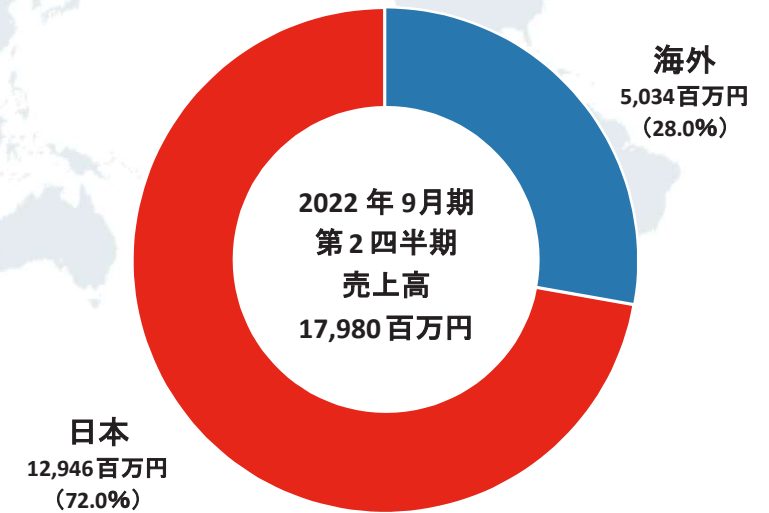
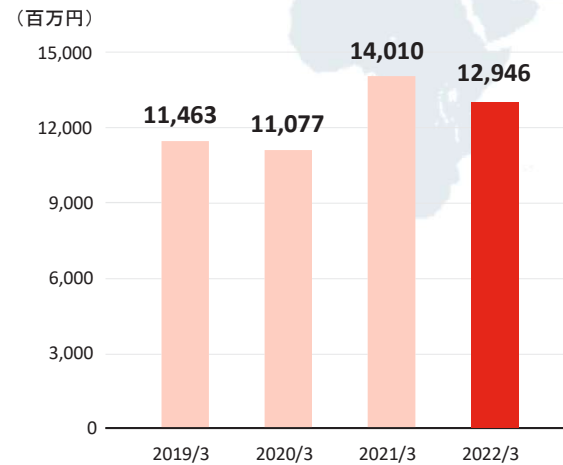
国内外共に、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢の緊迫化、原材料の高騰など下振れリスクが残る状況が続いております。国内アグリ流通において大型機械やセット動噴の売上が減少しましたが、欧州・北米向けの刈払機や工業用ポンプの増加により、売上高 17,980 百万円（前年同四半期比 2.2%増）、営業利益 651 百万円（前年同四半期比 27.2%減）、経常利益 711 百万円（前年同四半期比 14.7%減）となりました。

売上高の海外構成比

海外



日本



単位：百万円	2021 年 9 月期 第 2 四半期実績		2022 年 9 月期 第 2 四半期実績		
	売上高	売上高構成比	売上高	前年同期比	売上高構成比
海外	3,591	20.4%	5,034	40.2%	28.0%
日本	14,010	79.6%	12,946	△ 7.6%	72.0%

農林業用機械

- ・ 動力噴霧機
- ・ 動力散布機
- ・ 高性能防除機
- ・ 刈払機
- ・ チェンソー
- ・ その他



工業用機械

- ・ 工業用高圧ポンプ
- ・ 高圧洗浄機



その他の機械

- ・ 消火器
- ・ 防災関連機器
- ・ 環境衛生用機械
- ・ その他



不動産賃貸他

- ・ 不動産賃貸
- ・ 売電事業

セグメント別 業績概要

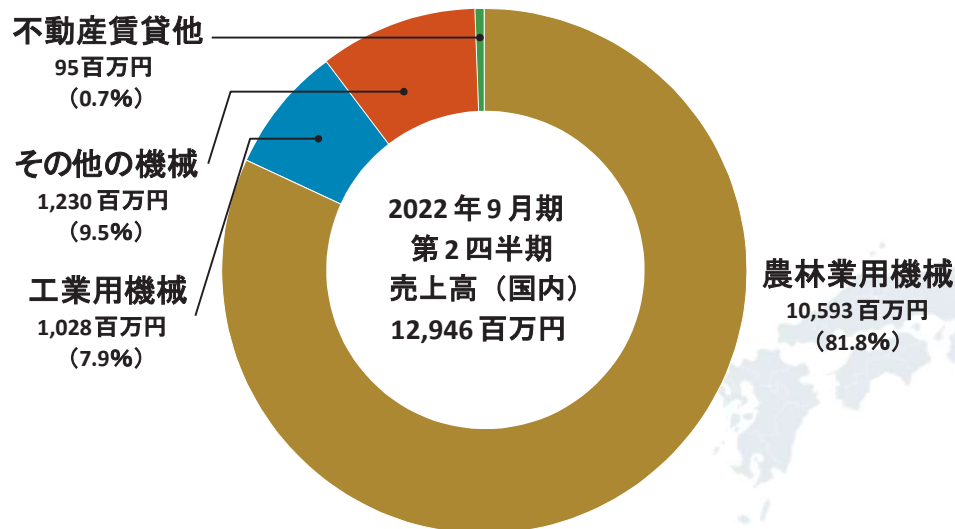
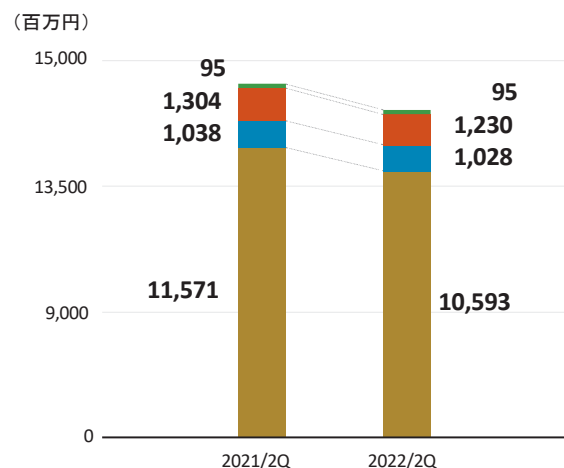
単位：百万円	2021年9月期 第2四半期実績			2021年9月期 第2四半期実績				変動要因
	売上高	売上高 構成比	営業 利益	売上高	売上高 構成比	営業 利益	営業利益 構成比	
農林業用機械	13,617	77.4%	968	13,414	74.6%	680	46.7%	国内：大型機械・セット動噴の減少 海外：欧州・北米・中南米向け 刈払機の増加
工業用機械	2,578	14.6%	525	3,239	18.0%	575	39.5%	国内：工業用ポンプの増加 海外：欧州・北米向け 工業用ポンプの増加
その他の機械	1,310	7.4%	63	1,232	6.9%	63	4.3%	
不動産賃貸他	241	1.4%	130	239	1.3%	139	9.5%	
調整額 (セグメント間取引)	△ 146	△ 0.8%	△ 792	△ 143	△ 0.8%	△ 806	—	
合計 (うち海外)	17,601 (3,591)	100.0% (20.4)	895	17,980 (5,034)	100.0% (28.0)	651	—	

農林業用機械：売上高は1.5%減（前年同四半期比）営業利益は29.7%減（前年同四半期比）

工業用機械：工業用ポンプが増加。売上高は25.6%増（前年同四半期比）、営業利益は9.6%増（前年同四半期比）

セグメント別 売上高（日本）

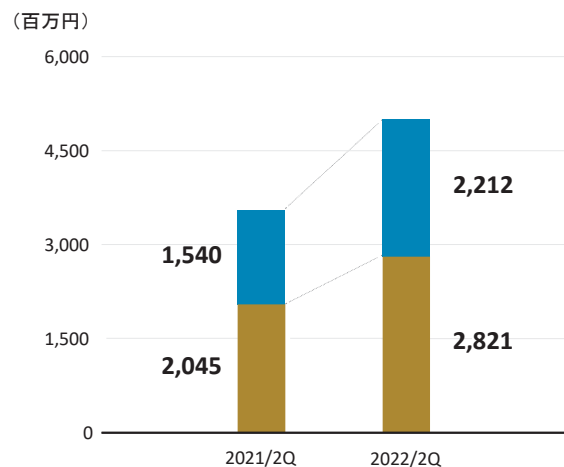
売上高



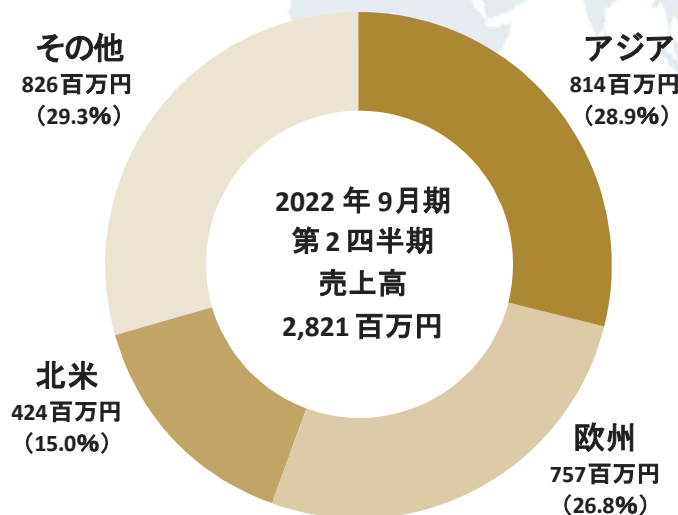
単位：百万円	2021年9月期 第2四半期実績		2022年9月期 第2四半期実績		
	売上高	売上高構成比	売上高	前年同期比	売上高構成比
農林業用機械	11,571	82.6%	10,593	△ 8.5%	81.8%
工業用機械	1,038	7.4%	1,028	△ 1.0%	7.9%
その他の機械	1,304	9.3%	1,230	△ 5.7%	9.5%
不動産賃貸他	95	0.7%	95	—	0.7%

セグメント別 売上高（海外）

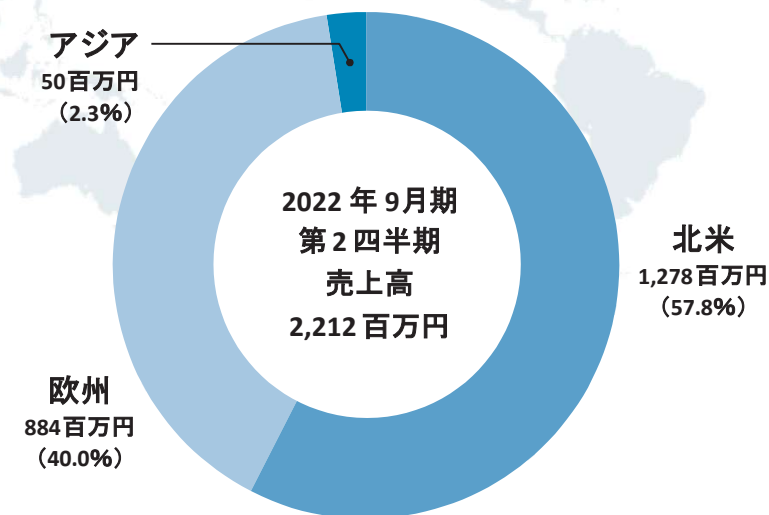
売上高



農林業用機械



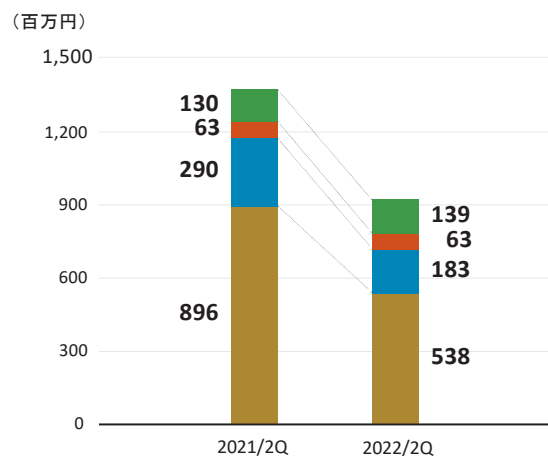
工業用機械



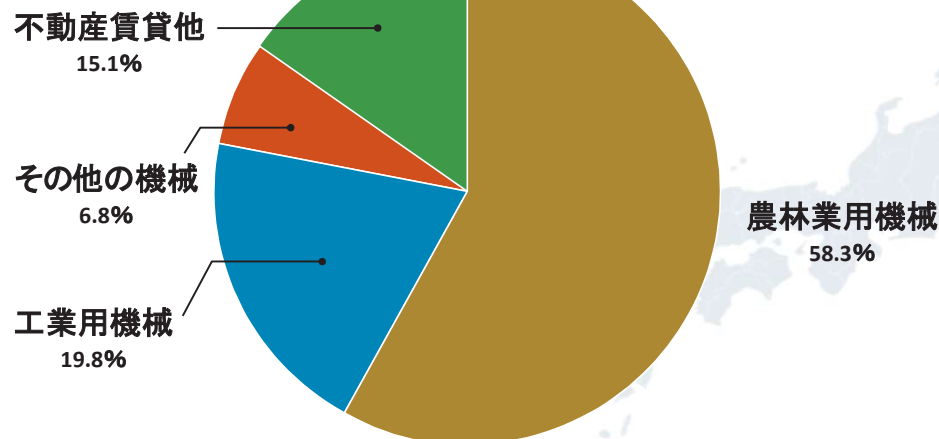
単位：百万円	2021 年 9 月期 第 2 四半期実績		2022 年 9 月期 第 2 四半期実績		
	売上高	売上高構成比	売上高	前年同期比	売上高構成比
農林業用機械	2,045	57.0%	2,821	37.9%	56.0%
工業用機械	1,540	43.0%	2,212	43.6%	44.0%

セグメント別 営業利益（日本）

営業利益



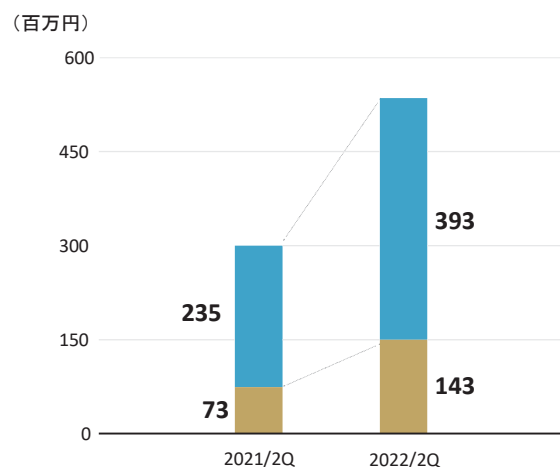
営業利益比率（日本）



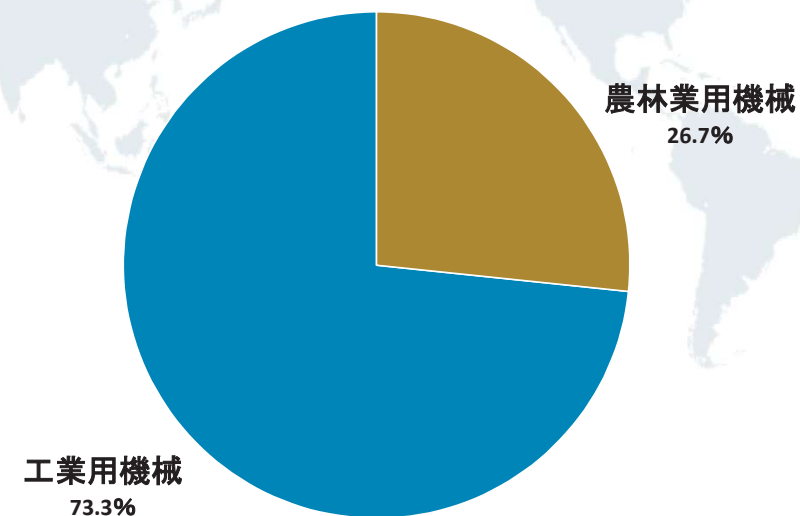
単位：百万円	2021 年 9 月期 第 2 四半期実績		2022 年 9 月期 第 2 四半期実績		
	営業利益	営業利益構成比	営業利益	前年同期比	営業利益構成比
農林業用機械	896	64.9%	538	△ 40.0%	58.3%
工業用機械	290	21.0%	183	△ 36.9%	19.8%
その他の機械	63	4.6%	63	—	6.8%
不動産賃貸他	130	9.5%	139	6.9%	15.1%

セグメント別 営業利益（海外）

営業利益

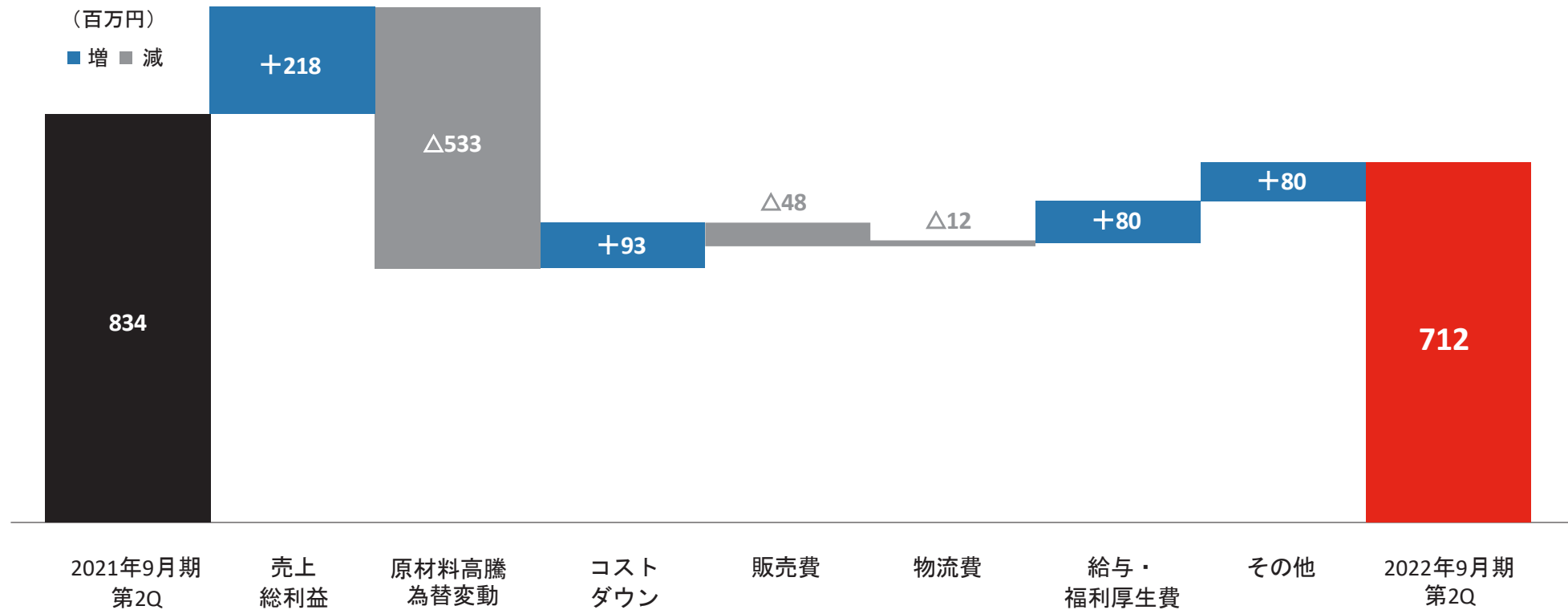


営業利益比率（海外）



単位：百万円	2021 年 9 月期 第 2 四半期実績		2022 年 9 月期第 2 四半期実績		
	営業利益	営業利益構成比	営業利益	前年同期比	営業利益構成比
農林業用機械	73	23.6%	143	95.9%	26.7%
工業用機械	235	76.4%	393	67.2%	73.3%

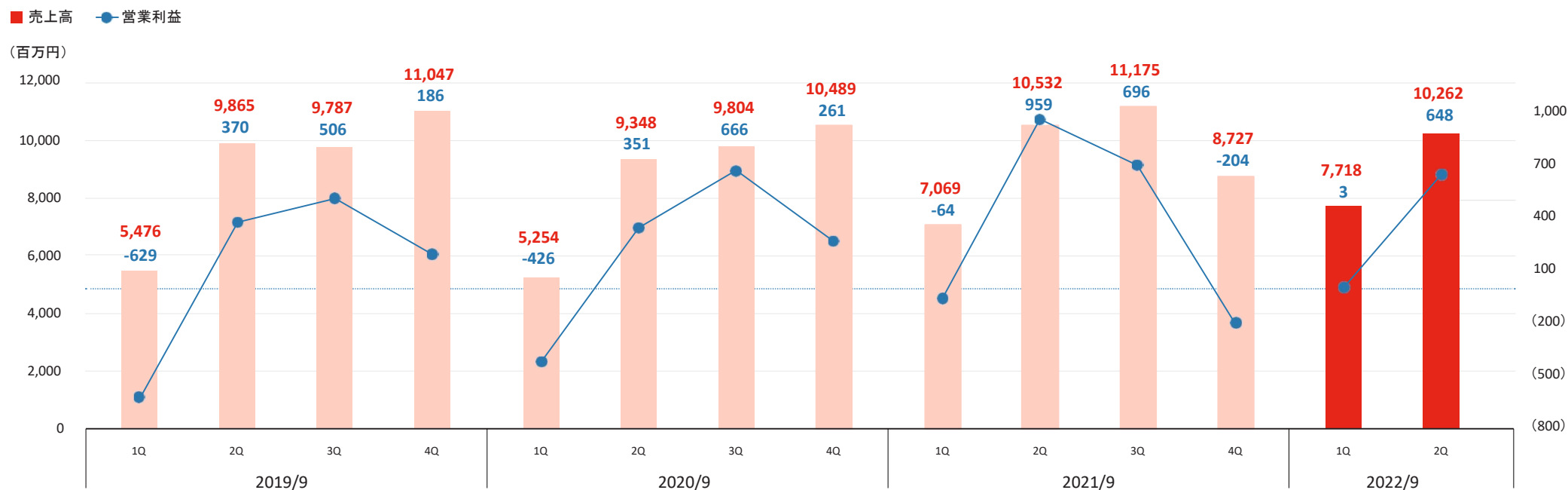
2022年9月期第2Q増益分析（営業利益）



売上高・営業利益の推移（四半期ベース）

売上高は17,980百万円（前年同期比2.2%増）
営業利益は651百万円（前年同期比27.2%減）

※国内の農業用機械の需要期が3月から7月であるため、売上・利益ともに第1四半期は他の期に比べ少ない傾向にあります。





1

2022 年 9 月期第 2 四半期 業績概要

【2021 年 10 月 1 日～2022 年 3 月 31 日】

2

2022 年 9 月期 業績予想

【2021 年 10 月 1 日～2022 年 9 月 30 日】

3

第 7 次中期経営計画

【2020 年 9 月期～2022 年 9 月期】

4

参考資料

会社概要 財務諸表 等

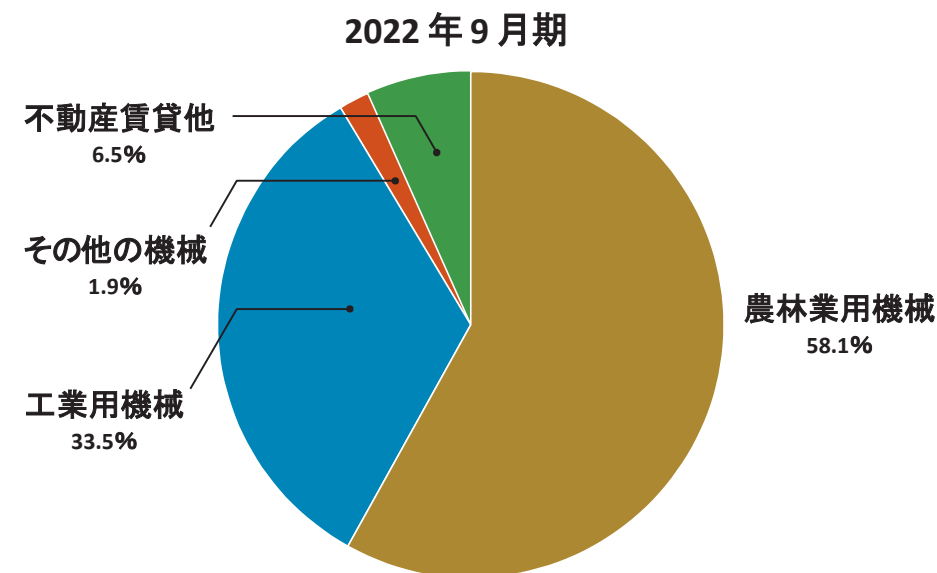
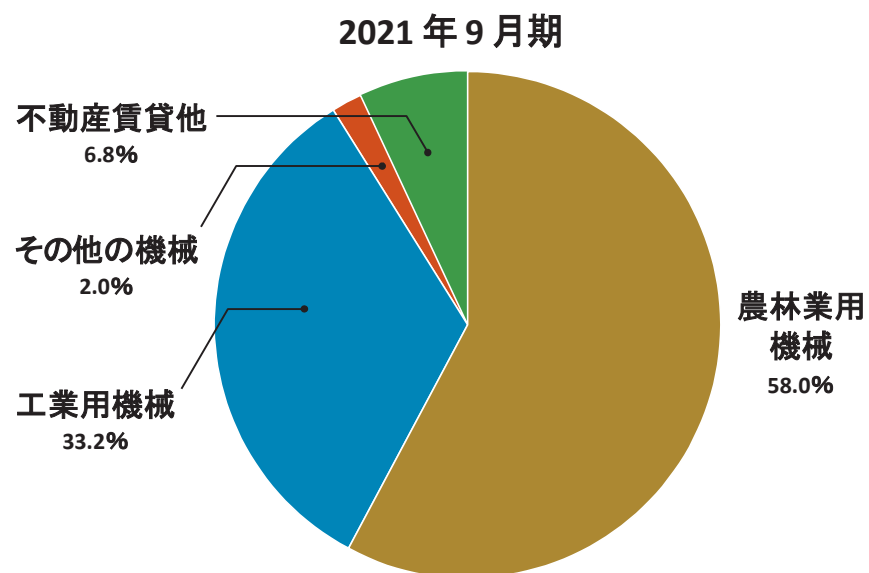
2022 年 9 月期 業績予想

単位：百万円	2021 年 9 月期 実績		2022 年 9 月期 通期予想			2022 年 9 月期 第 2 四半期	
	金額	売上高構成比	金額	前期比	売上高構成比	金額	進捗
売上高	37,503	100.0%	37,700	0.5%	100.0%	17,980	47.7%
営業利益	1,387	3.7%	1,500	8.1%	4.0%	651	43.4%
経常利益	1,302	3.5%	1,450	11.4%	3.8%	711	49.0%
当期純利益	855	2.3%	1,000	17.0%	2.7%	518	51.8%
為替レート 米ドル	108 円		110 円				
為替レート ユーロ	129 円		132 円				

2022 年 9 月期 セグメント別業績予想

単位：百万円	2021 年 9 月期 実績			2022 年 9 月期 予想		
	売上高	売上高構成比	営業利益	売上高	売上高構成比	営業利益
農林業用機械	29,288	78.1%	2,027	29,400	78.0%	2,150
工業用機械	5,693	15.2%	1,162	5,750	15.3%	1,240
その他の機械	2,328	6.2%	69	2,350	6.2%	70
不動産賃貸他	485	1.3%	239	480	1.3%	240
調整額 (セグメント間取引)	△ 291	△ 0.8%	△ 2,111	△ 280	△ 0.7%	△ 2,200
合計	37,503	100.0%	1,387	37,700	100.0%	1,500

セグメント別 営業利益



単位：百万円	2021 年 9 月期		2022 年 9 月期		
	営業利益	営業利益構成比	営業利益	前年同期比	営業利益構成比
農林業用機械	2,027	58.0%	2,150	6.1%	58.1%
工業用機械	1,162	33.2%	1,240	6.7%	33.5%
その他の機械	69	2.0%	70	1.4%	1.9%
不動産賃貸他	239	6.8%	240	0.4%	6.5%

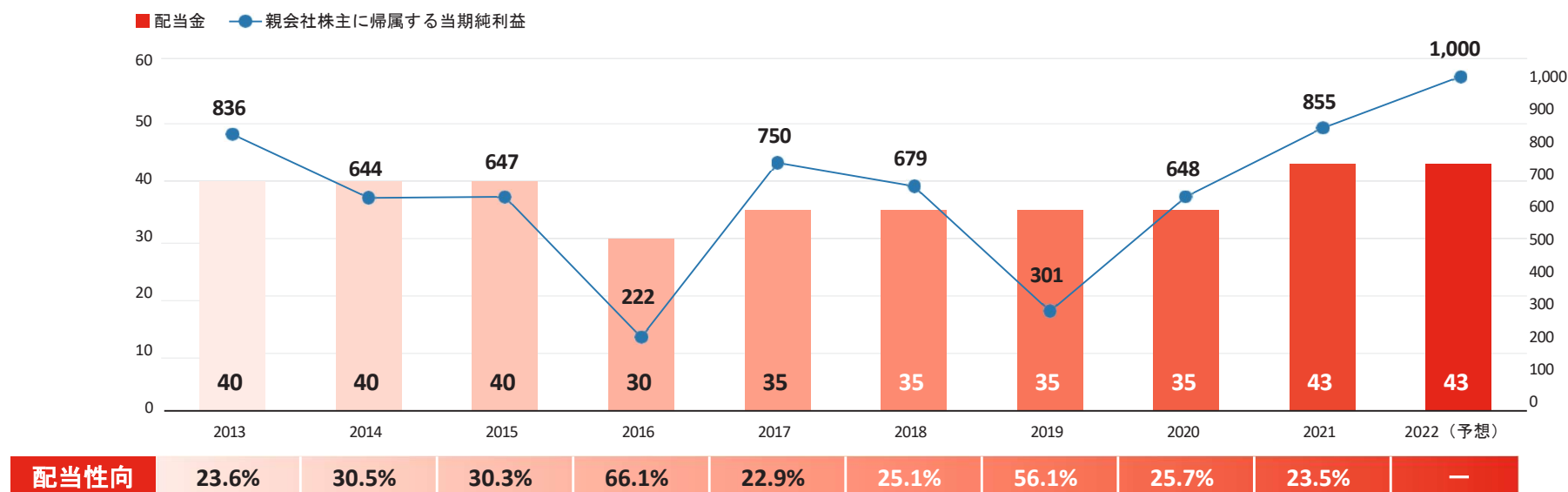
株主還元

- ・ 安定的な配当を継続することを基本として、将来の事業展開に必要な内部留保ならびに業績見込みなどを勘案することを方針としております。

- ・ 今期の配当予想額は前期と同じ1株につき43円

- ・ 自社株式取得：13万株あるいは200百万円を上限

期間は2022年2月10日～2022年8月9日



※ 2017年4月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、1株あたりの配当金については2010年に株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

サステナビリティへの取り組み

当社グループでは「食料」「水」「環境」「草ビジネス」を成長市場と捉え、積極的に事業展開を図ってまいります。

世界的食糧難、水資源の活用、昨今多発している災害への対応、ウイルスへの対応、脱CO₂などに対しては、当社の製品が大きく貢献できるものとの認識に立ち、ESG経営、SDGsの達成に向けた取り組みをより一層推進するため、サステナビリティ委員会を発足させました。

丸山グループのコアであるポンプとエンジン技術を最大限発揮し、グローバル市場において社会貢献型企業であると認知いただけるよう活動を継続してまいります。



ESG 経営の強化

当社グループでは、収益性の向上、財務基盤の強化、環境対応、人材の活性化、ガバナンスの強化を 経営目標に置き、ESG 経営の強化を進めてまいります。





1

2022 年 9 月期第 2 四半期 業績概要

【2021 年 10 月 1 日～2022 年 3 月 31 日】

2

2022 年 9 月期 業績予想

【2021 年 10 月 1 日～2022 年 9 月 30 日】

3

第 7 次中期経営計画

【2020 年 9 月期～2022 年 9 月期】

4

参考資料

会社概要 財務諸表 等

事業を取り巻く環境

事業へ影響を与える主な環境変化

マクロ 環境

- ・ 国内：少子高齢化
- ・ 海外：水不足・食料問題
- ・ 国内外：自然災害多発

ビジネス 環境

- ・ 国内：農家人口の減少
- ・ 海外：新興国の発展

市場 環境

- ・ 国内：スマート農業の登場
- ・ 海外：大型防除機の高需要
- ・ 国内外：感染症対策需要高



機会

【国内】

- ・ 担い手集約・大規模化による大型機械事業の促進
- ・ スマート農業製品の開発・販売
- ・ ウルトラファインバブルの販売拡大

【海外】

- ・ 大型防除機を中心にアジア各国への販売強化
- ・ 工業用機械部門で新製品の投入

【国内外】

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策として除菌用機械の投入

中期経営計画の目標

単位：百万円	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 目標値
売上高	34,895	37,503	37,700
営業利益	852	1,387	1,500
経常利益	763	1,302	1,450
当期純利益	648	855	1,000
ROE	4.0%	5.0%	6.0%以上

基本コンセプト

持続的成長を成し遂げる

基本戦略	方針
収益の改善	◆品質対策
イノベーションを巻き起こす	◆財務体質の強化
	◆産機・海外事業の成長
	◆スマート農業進出

社会貢献するとともに事業を進化させるべく
「次の100年を創る-All for the Future-」と
ブランドステートメントを定めました

コア技術であるポンプとエンジンをさらに進化させ、SDGsにつながる事業領域を将来に亘って継続的に拡大すべく、全社員で取り組み、収益力の向上並びに経営体質の強化に努め、単年度計画、中期経営計画の達成を目指してまいります。

収益の改善



イノベーションを巻き起こす

産機事業を伸ばす



- ◆ MUFB 製品をはじめとした製品戦略の強化
- ◆ 付加価値の高い完成品を販売

海外事業を伸ばす



- ◆ 現地のニーズに適した製品を開発
- ◆ 販売チャネルの構築

スマート農業への進出



- ◆ 大型機械、ドローン、バッテリー製品の研究開発、品揃え強化
- ◆ ソフト、システム、サービス技能の習得
- ◆ 異業種企業との提携・連携

サービス事業を伸ばす



- ◆ アフターマーケットの拡大
- ◆ 市場、需要の変化に敏感に対応
- ◆ サービス組織の充実
- ◆ エンドユーザー情報の把握

産機事業を伸ばす

健康・環境配慮 丸山ポンプテクノロジー

ミスト冷房



カーウォッシャー



テーマパーク



ハウス内加湿



災害時緊急給水 RO



MUFB（ウルトラファインバブル）の活用

ウルトラファインバブルとは...1 μ m以下の微小な泡

- 抜群の洗浄能力
 - ① 洗剤なしでも洗濯ができる
 - ② 細菌・ウイルス・悪臭を破壊
- 生理活性効果
 - ① 植物や養殖魚の生育を促進

洗浄

- ・トイレの尿石が取れた
- ・臭いが減った
- ・除塩作業の効率が良くなった



水産業

- ・養殖魚が短期間で大きくなった
- ・鮮度が長く保たれるようになった



農業

- ・野菜のハリ、ツヤが良くなった
- ・果物の収穫量が増え甘さも増した



ファインバブル活用事例集を基に当社作成：https://k-rip.gr.jp/wp/wp-content/uploads/2018/03/finebubble_ver4.pdf

スマート農業への進出

車両情報を衛星により把握し、圃場内において高精度な自動操舵を実現





1

2022 年 9 月期第 2 四半期 業績概要

【2021 年 10 月 1 日～2022 年 3 月 31 日】

2

2022 年 9 月期 業績予想

【2021 年 10 月 1 日～2022 年 9 月 30 日】

3

第 7 次中期経営計画

【2020 年 9 月期～2022 年 9 月期】

4

参考資料

会社概要 財務諸表 等

貸借対照表

単位：百万円	2021年9月期	期末	2022年9月期	第2Q	増減額	主要因
	金額	構成比	金額	構成比		
総資産	34,154	100.0%	34,886	100.0%	732	
流動資産	21,863	64.0%	22,737	65.2%	874	受取手形、売掛金の増加 電子記録債権の減少
固定資産	12,291	36.0%	12,148	34.8%	△ 143	投資有価証券の減少
流動負債	14,757	43.2%	15,184	43.5%	427	支払手形、買掛金の増加
固定負債	2,407	7.0%	2,497	7.2%	90	
純資産	16,989	49.7%	17,204	49.3%	215	親会社株主に帰属する四半期純利益を 計上したことなどによる利益剰余金の増加

	2021年9月期	期末	2022年9月期	第2Q
自己資本比率	49.7%		49.1%	
流動比率	148.2%		149.7%	

(注) 1. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用しており、前連結会計年度の総資産の金額については、当該会計基準等を遡って適用した後の金額となっております。

キャッシュフロー計算書

単位：百万円	2021年9月期 第2Q	2022年9月期 第2Q	前 期 同期比	変動要因
営業活動によるキャッシュフロー	595	△ 125	△ 720	棚卸資産の増加、売上債権の増加、法人税等の増加
投資活動によるキャッシュフロー	△ 543	△ 260	283	有形固定資産の取得による支出減少
フリーキャッシュフロー	52	△ 385	△ 437	
財務活動によるキャッシュフロー	△ 498	△ 433	65	自己株式の取得による支出の減少
現金及び現金同等物期末残高	3,687	3,305	△ 382	

会社概要

社 名	株式会社丸山製作所
代 表 者	代表取締役社長 内山 剛治
本 社	〒101-0047 東京都千代田区内神田3丁目4番15号
創 業・設 立	【創業】1895年 【設立】1937年11月
資 本 金	46億51百万円
売 上 高	375億3百万円（2021年9月期）
事 業 年 度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
上 場	東京証券取引所 スタンダード
従 業 員 数	【単体】586名 【連結】909名（2022年3月31日現在）
証 券 コード	6316
事 業 内 容	農林業用機械、工業用機械、消防機械の製造・販売
U R L	http://www.maruyama.co.jp/

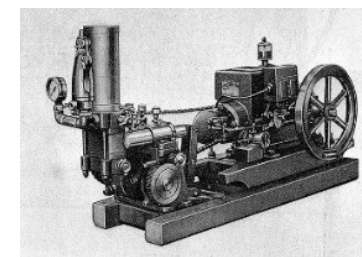


沿革

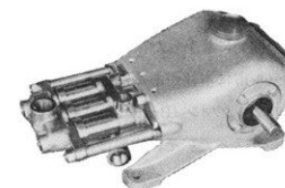
- 1895 年 新潟県高田町にて丸山商会を創業（日本で初めて消火器を製造）
- 1918 年 人力噴霧器の製造・販売
- 1935 年 動力噴霧機の製造・販売
- 1937 年 株式会社丸山製作所を設立
- 1961 年 東京証券取引所市場第二部に上場
- 1967 年 工業用ポンプを開発
- 1977 年 東京証券取引所市場第一部に指定
- 1990 年 オリジナル 2 サイクルエンジン開発
- 2000 年 新環境型 2 サイクルエンジンを開発
カリフォルニア州排ガス規制クリア
- 2004 年 消火剤リサイクル…eco 消火器を販売
- 2012 年 キャビン付ハイクリブームの開発
- 2016 年 マルチローター（ドローン）の開発
- 2018 年 ハイクリブーム発売 30 周年を迎える
- 2020 年 創業 125 周年



丸山式消火器



横型三連式動力噴霧機



工業用ポンプ



2 サイクルエンジン



キャビン付ハイクリブーム

当社の事業内容



農林業用機械分野

現在、丸山グループの基幹となっている事業です。

丸山独自のポンプを使用した防除機は、
変化し続ける農家の皆様のニーズに対応すべく、
多種多様な製品を製造・販売しております。
また、自社製の2サイクルエンジンを使用した刈払機、
チェーンソーなども扱っています。

産業機械分野

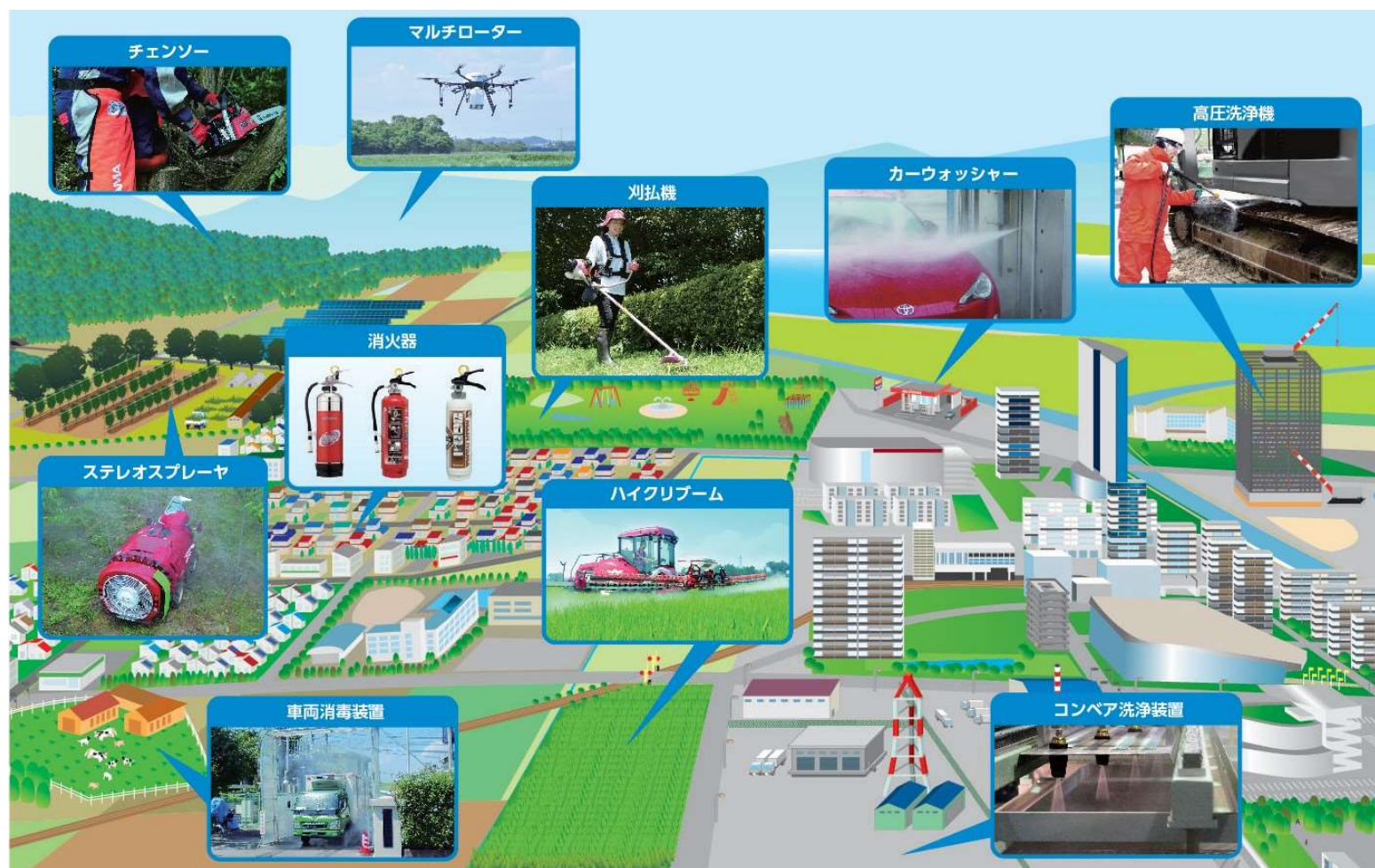
現在、丸山製作所が力を入れている事業です。

高圧洗浄機や洗車機、ミスト装置などに使われる
産業用の高圧ポンプの開発・製造を行っております。
また、畜舎内での病原菌の感染を防ぐ車両消毒装置など、
環境衛生機器分野にも丸山製作所のポンプは活用されております。

防災関連分野

丸山製作所は日本で最初に消火器の製造・販売をした企業です。
多様化する社会の中で「環境とより安全な消火器で社会に貢献する」という
理念のもと、消火薬剤のリサイクル化を進め、
技術改良と製品開発により、さまざまなニーズに対応しております。

当社製品



当社の主力

消火器の製造から始まり、現在ではポンプ・エンジンが当社のコアテクノロジーです。

ポンプとエンジンは製品の動力源であり、製品の心臓部となるものです。様々な分野の製品で活用されています。



ポンプ & エンジン

当社の強み（製品）

当社の製品は様々な分野でトップシェアを獲得しています。



ポンプ製品の農業用防除機で
国内トップシェア



海外（北米）でのカーウォッシュ用ポンプで
トップシェア



エンジン製品の刈払機でホームセンター流通に
おいて国内トップシェア

国内の販売・生産・サービス拠点

本社 東京都千代田区

生産拠点 3ヶ所
千葉県東金市（2ヶ所）
岡山県苫田郡

営業拠点 全国 25ヶ所
北海道（江別・帯広）／青森／岩手／秋田／
山形／宮城／福島／茨城／栃木／千葉／新潟／
長野／山梨／石川／愛知／静岡／大阪／広島／
岡山／香川／福岡／熊本／鹿児島／宮崎

物流拠点 3ヶ所
福島県／千葉県／岡山県

関係会社 日本クライス株式会社
マルヤマエクセル株式会社
西部丸山株式会社
丸山物流株式会社

千葉工場 （東京ドーム3個分の敷地）



物流拠点（福島）



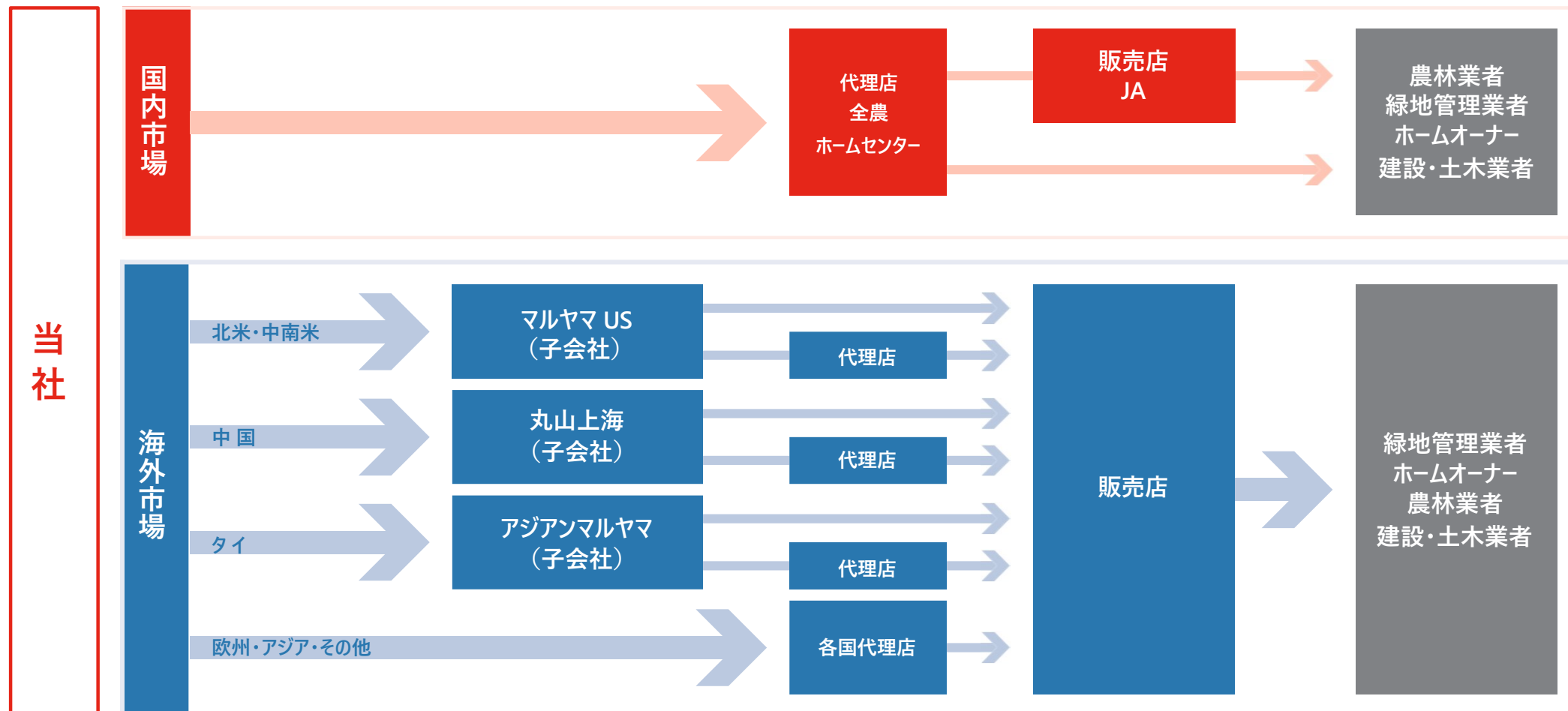
西部丸山（岡山）



海外の販売・生産拠点



主な販売経路



ポンプを使用した工業用製品

スパウターによる消臭作業



テーマパークで使用するミスト



高圧洗浄機



温度管理ミスト



カーウォッシャー



災害時緊急給水 RO



ポンプを使用した農業用製品

スタジアムの抗菌 抗ウイルスコーティング

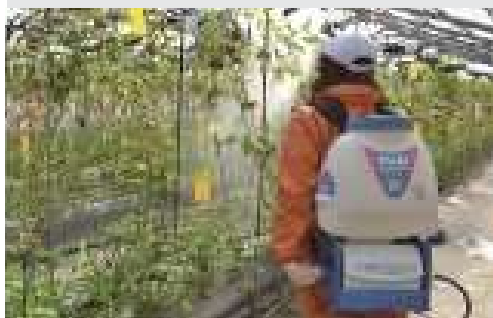


牛舎での除菌作業



【畑・ビニールハウス】

背負動力噴霧機



【果樹園】

ステレオスプレーヤ



【田・畑】

ハイクリboom



【中山間地】

マルチローター



エンジンを使用した製品

刈払機



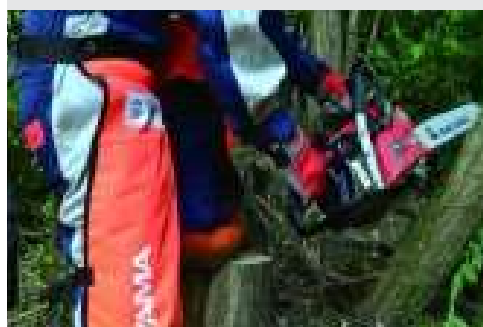
ブロワー



ヘッジトリマー



チェーンソー



背負動力噴霧機



当社の強み（生産体制）

丸山グループは設計・製造からお客様のお手元に製品が届くまで、グループ内で一貫して行なっております。



コメリ様向け自走式草刈機「速刈り君 KJ-30」登場



速刈り君
HOW TO
動画はこちら

当社はこの度、コメリ様向けの自走式草刈機「速刈り君 KJ-30」を開発・発売いたしました。自走式草刈機は、通常の肩掛け式や背負式の刈払機とは異なり、レバーを握りながら歩くだけで草刈り作業が行えるため、足腰の負担も軽く、安全性も高いものとなっております。また、今回新しい試みとして YouTube 上に【速刈り君 HOW TO】のチャンネルを設け、製品の特長や使い方、メンテナンス方法などを紹介した動画を公開しております。当社は今後も、お客様に満足していただける製品の開発を続けてまいります。



速刈り君 KJ-30

1. パワフルな丸山 2 サイクルエンジン搭載
2. 4WD×オリジナルスパイクタイヤ搭載で斜面の走行にも対応
3. フリー刃×4 枚で障害物や石にも強い
4. ワンレバーで上下・左右の旋回調整が可能

「MUFB ウルトラタップ UT-080」発売



当社MUFB
特設サイトは
こちら



MUFB ウルトラタップ UT-080

近年、当社が力を入れております丸山ウルトラファインバブル（MUFB）につきまして、この度、蛇口に取り付けるだけで MUFB 水が生成できる「MUFB ウルトラタップ UT-080」を発売いたしました。MUFB は作物や養殖魚の成長促進、トイレの尿石除去、排水管の詰まり解消など様々な分野で貢献しております。MUFB ウルトラタップはご家庭のキッチンなどの水道の蛇口に取り付けるだけで MUFB が含まれた水を利用でき、お料理や洗い物、園芸など、多種多様な用途にご活用いただけます。当社は今後も、持続可能な開発目標（SDGs）に貢献できるような製品開発、取り組みを続けてまいります。

1. 水自体の洗浄力が高まり汚れ落ちアップ
2. 手肌の保湿効果が期待
3. 市販アダプタを介したホース接続も可能

ドローン教習サービス拡大中



ドローン教習風景

当社では現在、スマート農業への取り組みの一環として、農薬散布用ドローンのサービス充実に力を入れております。当社のドローン教習施設は 2022 年 3 月時点で全国 14 箇所があり、施設内で当社社員によるドローンの教習を行うほか、防除のノウハウの伝授やお客様の機体整備を行っております。また、現在のドローンは自動航行できる機体が主流となっており、当社の教習施設で自動航行が体験できるキャンペーンも行っております。今後は更なるドローン事業の拡充を図るため、ドローンのオペレータ資格を全国の営業マンが取得できるよう、全社で取り組んでまいります。

健康経営への取り組み



当社グループは、「ブランドステートメントである『次の100年を創る -All for the Future-』を実践し、より良い社会を創るためには、従業員とその家族が健康で、働き甲斐が実感できる事が必要不可欠である。」との考えのもと、2021年10月に「健康経営宣言」を発出し、健康経営への取り組みをスタートさせました。

「健康経営」とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する取り組みです。当社グループも様々な取り組みの結果、2022年3月に、経済産業省より「健康経営優良法人2022（大規模法人部門）」の認定をいただきました。

当社グループは今後も、健康経営を通じて従業員が長く安心して、活き活きと働き続けられる企業を目指し、従業員の健康作りを推進してまいります。

当社グループの 健康経営への 取り組み

- 有給休暇取得促進等の過重労働対策
- テレワークや時差出勤、フレックスタイム制度の積極的な活用
- 特定保健指導が実施されている旨の周知と対象者への参加推奨
- 管理職・一般社員向けに健康経営セミナーの実施

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

【 I Rに関するお問い合わせ先】

株式会社丸山製作所
人事総務部

〒101-0047 東京都千代田区内神田3-4-15

TEL : 03-3252-2271

E-mail : ir-contact@maruyama.co.jp